

Burton IT1のサービス概要と活用について

2011年12月1日

ガートナー ジャパン株式会社
営業本部

ガートナーの概要

ガートナー ジャパン株式会社 (Gartner Japan, Ltd.)

設立	1995年
所在地	東京都港区愛宕
代表取締役社長	日高 信彦
顧客数	約600社
従業員	約150名 (アナリスト、コンサルタント 約60名)

Gartner®

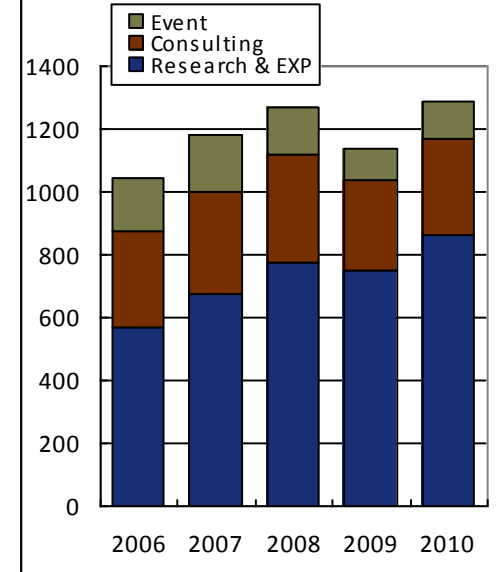
Gartner, Inc.

設立	1979年
所在地	米国コネティカット州スタンフォード
CEO	Gene Hall
業務内容	IT業界のリサーチ/コンサルティング
顧客数	11,500社、60,000ユーザー
従業員	約4,500名 アナリスト 約780名 コンサルタント 約470名
売上高沿革	約1,050億円 (\$1,288M) *2010年度 1994年 NASDAQ上場 1995年 日本法人設立 1995年 データクエスト社を買収 2001年 社名を"Gartner"に変更 2005年 "Meta Group"を買収 2009年 "AMR Research"を買収 2010年 "Burton Group"を買収

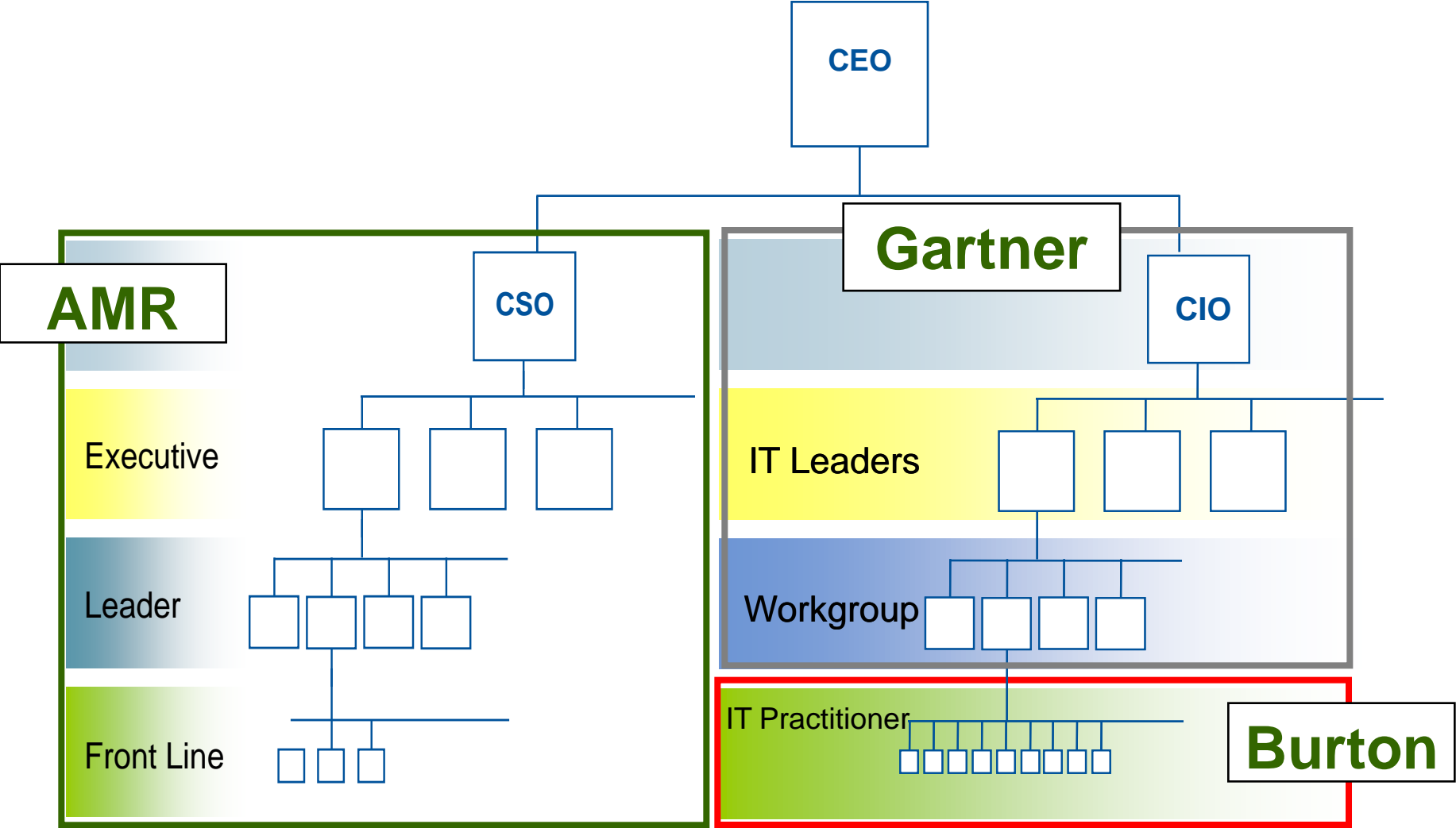
Gartnerの 主な拠点

-
- 日本
 - 北米
 - 南米
 - EMEA
(ヨーロッパ・中東・アフリカ)
 - APAC
(アジア・太平洋地域)
- 全世界85ヶ国に展開

売上高推移(単位: US\$M)



BurtonとAMR によってお客様への支援を拡大



Gartnerサービスとご活用対象レベル

ガートナーはIT組織の各レベルに的を絞った知見を提供する事により、その組織全体が取り組む新たな構想からの最大限の価値とIT投資の最適化を引き出す事を可能にします

CIO

EXP / Gartner for
IT Executives

CIOが、その組織にとって最良の結果を出せるようになる為に必要な、CIOと言う役割に特化したツールと知見を提供する

IT Leaders
(情報システム部門長)

JCOR Advanced /
Gartner for IT Leaders

ITリーダーが、新たに取り組む重要な課題とIT投資において確かな成功を収めるためのITリーダーの役割に特化したツールと知見を提供する

IT Practitioners
(プロジェクト・マネージャー、
アーキテクト、上級SE等)

Burton IT1

ソリューションを評価・設計するための詳細なリサーチと意思決定支援ツールを求めているIT技術者に対して実践的な知見を提供する

同じ目標、別々の課題

CIO/ITリーダーと傘下のチームは共通の目標を持っているが、戦略的ビジョンを現実とする際には、別々の課題に直面している

CIO/ITリーダーが戦略上欠かせないこと

- ITとビジネス戦略の整合
- 主要な出資者の賛同を得られる企画、予算案、ビジネスケースの展開
- 最小限のリスクで最大の利益を得るための戦略調整
- IT投資に対する最良価格と条件の獲得
- 革新と恒常的な向上の促進

IT実務者の業務上の課題

- 急速に変化するテクノロジーと市場への対応
- 様々な選択肢の技術的評価
- 最小リスク・高能率のプロジェクト実行
- 機動的・高費用効率インフラ考案
- パフォーマンスの測定・観測
- サービスの質を維持したままコストを最適化

ベンダー企業にもガートナーは適切に支援致します

お客様の組織

代表的な課題

ガートナーサービス

CTO

お客様にとっての自社の立ち位置の把握(パートナー?)
技術的な強みの把握

Gartner for Business Leaders

技術戦略部門

中長期技術ロードマップの策定
(アライアンス、自社開発、R&D戦略)

Burton IT1

技術支援(ナレッジ)部門

ベストプラクティスの構築と展開
説得性のある提案の実施
・グローバル視点
・アーキテクチャ視点
・社内事例/社外事例

グローバル規模における技術の潮流を把握
したうえでお客様より半歩先を行く提案を実施
・個別アーキテクチャ領域毎の技術動向
・評価チェックリスト
・事例など

システムエンジニア

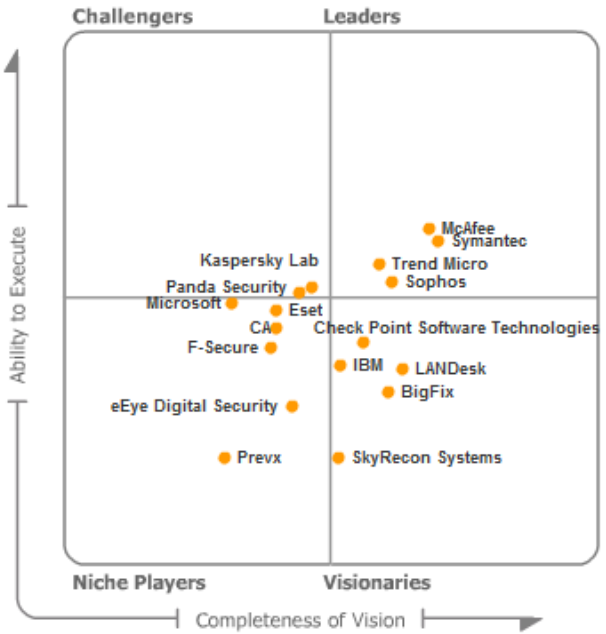
ガートナーの従来のサービスとBurtonサービスにより、 組織のすべてのレベルに対し鍵となる知見を提供します

- Gartner for IT Leaders/ジャパン・コア・リサーチは新たに取り組む重要な課題とIT投資において確かな成功をご支援するための最良の研究・アドバイザリーサービスです。
 - 730人のアナリストの全域で年間3,500以上のリサーチレポート
 - ITの重要プロジェクトや投資に関する実践的な知見にフォーカスしたレポート（8～12ページ）
- Burtonは、ソリューションを評価・設計するIT実務者に対し、インフラストラクチャー・テクノロジーに関する詳細な専門的研究とアドバイスを提供する事により、課題解決をご支援します。
 - 50人のアナリストで年間500以上の資料数
 - アーキテクチャ・設計と技術的なプランニングにフォーカスしたレポート（30～40ページ）
 - 回数無制限の問い合わせを受付

Burtonの情報は、ソリューションを評価し設計するための諸問題を 詳細な専門的リサーチと意思決定ツールにより深く究明する事が可能です

<ガートナーの従来サービス>

エンドポイント・プロテクション・プラットフォームの
 マジック・クアドラント



エンドユーザーデバイスを守るため
 にはどのソフトウェアベンダーを選
 択すべきなのか？

<Burton IT1 サービス>

“Malicious Software Reference Architecture”

Evaluation Criteria

- Does the enterprise prefer single-vendor versus best-of-breed solutions?

When evaluating Reference Architecture principles, some organizations will face a case of malware, the number of infection vectors and potential remediations. Therefore, some organizations may need to reconsider their dedication to a single-vendor solution.
- What is considered malicious?

Viruses, worms, and Trojan horses are clearly malicious software that can cause significant damage. In some cases, they may be annoyances rather than direct threats; in other cases, they may be direct threats. Organizations must determine their policies governing what is allowed and prohibited.
- What are the susceptibility factors that may cause an infection?

As in humans, some systems may be more prone to attack from malicious software. Factors such as the likelihood of attacks for the types of systems they use, the level of system management or lockdown, and the amount and sophistication of network admission control deployed are all factors that can influence susceptibility.
- What is the level of system management or lockdown?

Enterprises may have deployed systems at various levels of management. Both the level of management and the lesser degrees of malware resistance—an understanding of current host configurations and the level of system management or lockdown—can influence susceptibility.
- What are the amount and sophistication of network admission control deployed?

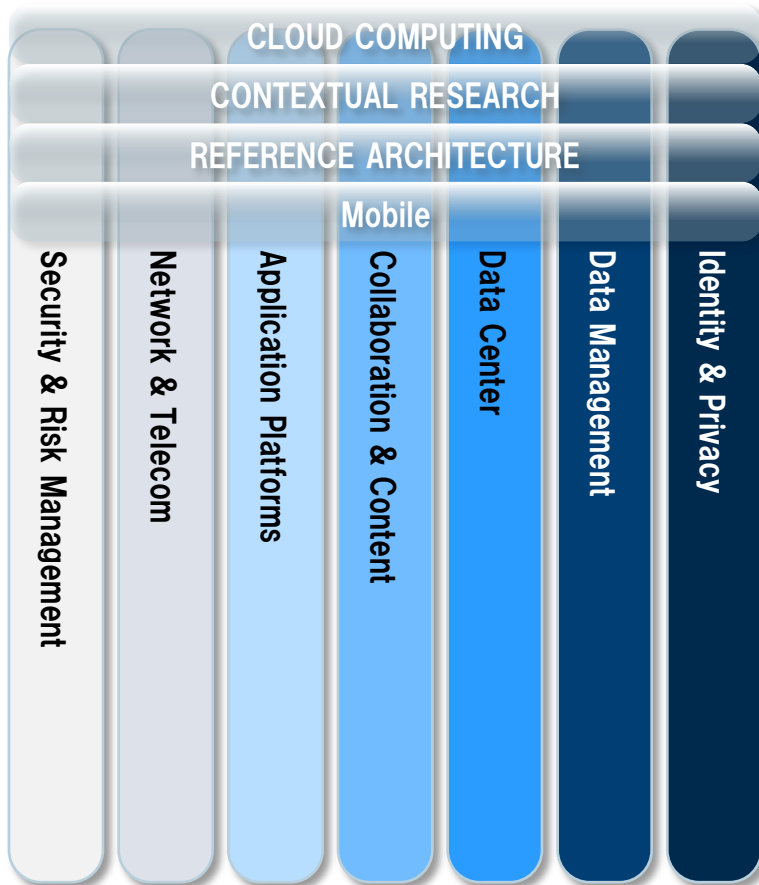
Although prevention of malware may be one of the reasons an organization elects to implement network admission control, the surety level of network admission control—whether it is local, remote, or archived—affects what additional layered malware controls are required.
- Where is data stored?

It is important to consider where critical user data or other information processes are stored. The ability to re-image or re-provision a malware-infected host is critical, and it is important to consider where critical user data or other information processes are stored. The ability to re-image or re-provision a malware-infected host is critical, and it is important to consider where critical user data or other information processes are stored.

悪質なソフトウェアのセキュリティー・ソ
 リューションを評価するにはどの評価基
 準が必要となるか？

Burton IT1 とは？

Burton IT1は、7つのカバレッジ・エリアにおける40以上のテクノロジー・トピックに対し、テクノロジーの選択、設計、実装に至るまでをより実践的で詳細な知見を以ってサポートするためにデザインされたリサーチ・サービスです。



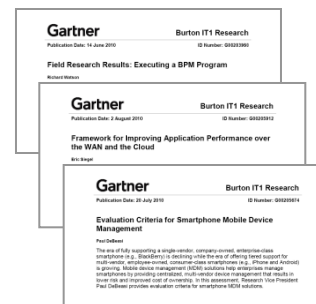
**In-depth reports, typically
25 – 40 pages**

- Reference Architectures
- Best Practices
- Field Research Studies

Burton IT1が提供する5つのサービス

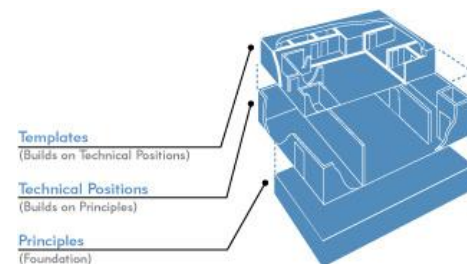
1. Burton IT1 Research

- In-Depth Research
 - 個々のテクノロジーの詳細分析
 - ケーススタディー、フィールドリサーチ
- Methodologies and Best Practices
 - Burtonの専門知識と実際の顧客の経験から産み出された知見



2. Burton IT1 Reference Architecture

- Reference Architecture
 - 詳細な対話型意思決定フレームワーク
 - テクノロジー・トピック毎にフレームワークを提供



3. Analyst Dialogues (Inquiry)

- アナリストとのone-on-oneの討議（アドバイザーレベルの顧客が対象）
- 他のGartnerプロダクトと異なり1回のATCが60分で設定される



4. Webinars

5. Catalyst Conference

- 著名なスピーカーによる講演, アナリストとのone on one, 対話形式ワークショップ, 現在US、EMEAで年1回ずつ開催



① Burton IT1 Research

In-depth Research (詳細リサーチ)

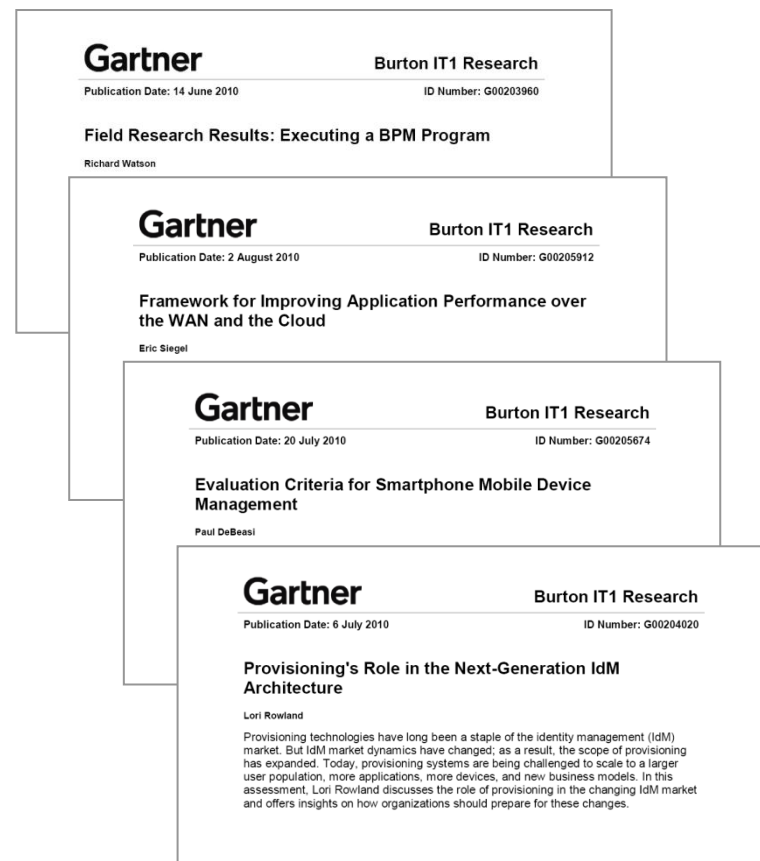
- ・ 年間300本以上の新規レポート発行
- ・ 通常1本あたり25～50ページ
- ・ 品質と信頼性を重要視

Methodologies and Best Practices

- ・ 数百に及ぶグローバル規模のコンサルティング案件に従事しているコンサルタント、アナリストからのフィードバック
- ・ 導入のスピードと質を改善を目的としたデザイン

Field Research Studies

- ・ 平均15～25社におよぶITおよびビジネス・ステークホルダーのお客様との詳細なインタビューに基づき作成
- ・ ITにおける様々なミッション・クリティカルな課題や急成長ビジネスの分析
- ・ 市場や業界の最新動向の分析と提言



②Burton IT1 Reference Architecture

テクノロジーやソリューションの導入に際し、洗練されたアーキテクチャーと戦略的な意思決定を導くための、他に類を見ない双方向性の意思決定ツールです。

Burtonが所有するリサーチ知識基盤と何百にも及ぶコンサルティング案件から得た実践的な経験に基づいており、継続的に更新されています。

• Principles（原則）

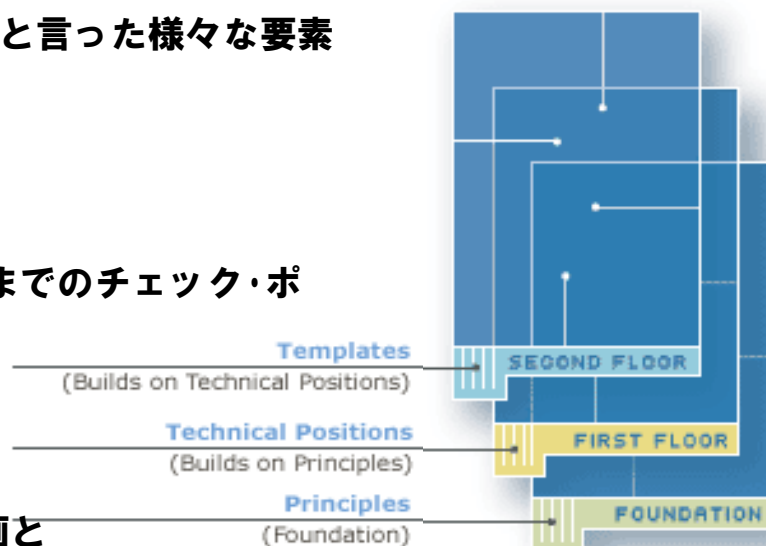
- ・ テクノロジー、アーキテクチャー、組織、そして市場と言った様々な要素のオーバー・ビュー
- ・ プランニング、意思決定のためのベースを提供

• Decision Point

- ・ テクノロジー・トピック毎に、プランニングから導入までのチェック・ポイントを提示
- ・ 技術的な選択肢の提示やその評価方法に言及

• Template

- ・ インフラストラクチャのアーキテクチャ的な 詳細計画とシステム機能間の関係を構築する



レポート例 : Cloud Computing

- **Cloud Computing: Transforming IT**
- **Cloud Computing Innovation Key Initiative Overview**

- **The Dark Side of Cloud Computing**
- **Field Research Summary: Building Internal Clouds**
- **Moving Applications to the Cloud: Finding Your Right Path**

- **2012 Cloud Computing Planning Guide: From Hybrid IT to Hybrid Clouds**
- **Cloud Computing Tiered Architecture “**

- **Migrating Applications to the Cloud: Rehost, Refactor, Revise, Rebuild, or Replace?**
- **Google App Engine, Windows Azure, and Force.com: What's Your PaaS Style?**

おわりに：Burton IT1のご提供価値

IT実務者向けの実践的な知見を提供



- 個々のプロジェクトの企画から設計、評価、導入、運用に至るまでの各フェーズにおける取り組みの精度を上げることができます
- 企画から評価に至るまでのプランニングに掛かる時間を大幅に短縮することができるためコストの削減につながります
- チェック項目の抜け・漏れなどを防げるなどプロジェクト・リスクの低減が図れます

Thank you !

お問い合わせ
ガートナージャパン株式会社
営業本部 向井俊介
Mail: shunsuke.mukai@gartner.com
TEL: 03-6430-1750